

定期総会/今年度の主な取り組み

主な記事

陽だまり発！こどもの居場所づくり

代表「続『孤独』ということ」

事務局日より

2009.10月号

平成21年10月15日発行

発行元 NPO法人陽だまり
発行元住所 〒739-0043
東広島市西条西本町27-37 高貴ビル201
電話 082-422-4115

定期総会開催

平成二十二年五月九日 土、例年通り
サンスクエアにおいて定期総会を開催
しました。出席者二五名、委任状九七
名の計一二二名で審議が行われ、すべ
ての議案が満場一致で可決されました。

総会終了後は出席者で茶話会を行
いました。活動者からは、相手の気持ち
を感じ取り、話相手になるのも仕事の
一つだと思っただけでいいから、すべ
ての議案が満場一致で可決されました。
「逆に利用者さんからパワーをもら
って帰ることもたくさんある」など前
向きな感想がたくさん寄せられ、やり
がいを持って活動にあたってくださっ
ていることが伝わってきました。

利用者さんからは、ご自分の置かれ
ている状況についてお話しがありました。
知的障害のお子様施設に入所し
ているAさんは、職員不足でお世話が
行き届かず、子どもが愛情不足から精
神的に参ってしまっていること、親も
歳をとって年金暮らしのため、タクシ
ー代など面会にもお金がかかり負担に
なっていることなどを話されました。
Bさんは、介護保険の対象からはず
れたら要介護へ向かうのではないかと、
元気を保っているのはサービスを利用
してリハビリで努力しているおかげな
のだがその努力は評価されない、と今
の制度に疑問を投げかけられました。

他に、認知症の人と家族の会が、認
知症の方の入院時の付添いを介護保険
でもできるような国に提言しているとの
紹介がありました。

時間は限られていましたが、ざっく
ばらんに日ごろの思いを共有すること
ができ、有意義なひとときを過ごすこ
とができました。



今年度の取り組み

今年度は、①有料サービス・移動サ
ービスを充実させる、②子育て支援に
取り組む、の二点を主な目標に定め、
理事・事務局が一丸となって取り組ん
でいます。

①有料サービス・移動サービス

有料サービス移動サービスについて
は、ここ数年活動者不足に悩んでいま
した。そこで、7月に計4回、西条、
高屋、八本松の各地域で活動者説明会
を開催し、新たな担い手発掘に努力し
ました。また、9月には移動サービ
スの運転者を育成するために、国土交通
大臣認定講習会を開催しました。これ
らの取り組みの結果、若干名ではあり
ますが、新しい仲間を迎えることがで
きました。

②子育て支援への取り組み

今、西条地区では急激な都市化に伴
い、地区内の3小学校が過密状態にな
っています。学童保育 いきいきクラ
ブも大所帯のため、利用条件が厳し
く、対象にならない子どももたくさん
いると思われまます。そんな子どもたち
が、放課後安心して過ごせる場所がほ
しい！陽だまりは、そんな子どもたち
の居場所づくりにチャレンジするこ
とにしました。しかし、資金も場所も
ない私たち。まずは地域の人たちに陽
だまりを知ってもらい、信頼を寄せて
もらおうと、夏休みなどの長期休暇に、
小学生向けの子ども教室を開催するこ
とにしました。詳しくは、次ページを
ご覧ください。



陽だまり発！子どもの居場所づくり

東広島市の「市民協働のまちづくりモデル事業補助金」に応募したところ、見事審査を突破し、今年度は市の助成事業として、夏休み・冬休みに計7日の企画を行うことになりました。今号では、夏休みに行った企画について報告します。

はじめに

この企画は、長期休暇中の子どもの居場所をつくり、子どもにとっては夏休みの宿題が終わる、保護者にとっては安心して仕事等に取り組める、という環境づくりを目指したものです。今年は、西条地区内の3小学校のうち寺西小学校児童を対象に、隣接する寺家会館で行いました。世代間交流、そして地域交流の場ともなるように、地域の方や学生などにもボランティア参加を呼びかけ、多くの方の協力を得ることができました。参加した子どもたちや保護者からも大好評で、来年もぜひやってほしいという声が寄せられました。

①実験！うどんづくり

7月27日実施 参加者22名

造賀公民館長の林さんを講師に迎え、うどんづくりを行いました。



ビニール袋に薄力粉、強力粉、水を入れてこねますが、なかなか生地にとまらぬ！しかし、30分後には見事どの班もうどん生地を包丁で細く細く切っていました。その後は湯がいて、好きなトッピングをのせて、美味しい美味しいうどんの出来上がり！食後には自由研究にも使えるように、プリントを使ってまとめをしました。



②スイーツアクセサリーを作

紙粘土やシリコンシーラントという接着剤を使って、マカロンやミニカップケーキを作りました。粘土に好きな絵の具を混ぜたり、トッピングをしたり。子どもたちはものすごい集中力で、創造性を発揮！！



かわいくて、美味しそうな作品が次々と出来上がりました。

③宿題かけこみ寺 8月17、19、20、21日実施 のべ参加者41名

夏休みの宿題を終わらせるために集まった子どもたち。勉強の時間はしっかり集中し、遊ぶ時は大学生や高校生のお兄さん、お姉さんたちと思いっきり遊びました。また、一日の終わりには、みんなで風船バレーなどのゲームをして盛り上がりました。保護者からも、少人数制とアットホームな雰囲気で大満足と大絶賛でした。

最後に

初めての試みでしたが、アンケート結果では「大変よかった」という回答が多く、また、ほとんどの保護者が児童館を必要だと感じていることがわかりました。今後も夢の実現に向けて、一步一步歩いていきます。

続「孤独」ということ

代表 廣瀬 長子

平成 18 年 3 月 10 日付の陽だまり通信に「孤独」についての私の拙文を載せていただいた。誰もが孤独を経験するところであるが、私の場合は長年連れ添った「つれあい」を亡くした時だった。暗闇にずんずん引きずり込まれていくような不安、恐怖、そこから逃れようとする私。孤独とはこんなに怖いものなのか、を生まれて初めて体験した。

あの時から 4 年近くの月日が経過した。昔から「日にちが薬」とよく言われているように、一日一日と日にちが経つにつれ、辛くて不安な孤独は薄皮をはぐように少しずつ薄らいでいった。日にちの経過がこれほど心と体を癒してくれるものとは思ってもいなかった。

それに加えて私に再び生きる力を与えてくれたのは、周囲の人たち、地域の人たち、そして私の子どもたちとその家族の支えであった。ある時は遠くからの見守りであったり、またある時は優しい言葉であった。それらは

私を勇気づけ元気づけてくれた。私は一人ではない、大勢の人たちによって支えられていることを実感した。

かけがえのない人を失った代償はとて大きかったけれど、その半面「日にちが薬」を実感し、そして「人の優しさ」を気づかせてもらった。それらは平素あまり気につけられないことであるが、その大切さ尊さに気づかせてもらったことを本当に有り難く思っている。

一人より二人で生きていくほうが充実して楽しい。しかし物事はいつもうまく運ばないのが世の常である。これからも孤独で苦しんでいる人たちにそっと寄り添って、寂しさ悲しさを分かち合っていけたらと思う。何事も一人では半分しかできないが、残りの半分はみんなの力を借りながら、前向きにこれからの人生を送っていきたいと思う。初秋を迎え、こんなことを考えた一日であった。

井上寛隆さん運転手卒業の辞

もみじの葉が色付き始めを見られるようになり、絶好の旅行シーズンに入りますね。会員の皆様には、益々お元気で、充実した、日々の生活をされておられることと思います。私ごと 10 月 5 日にて、71 回目の年を迎え、無事、陽だまりを卒業することが出来ました。約 3 年間、皆さまから元気の源となる様なお話、情報を頂き、楽しい活動ができました。どうもありがとうございました。

これからも、どしどしボランティア活動に参加して、楽しい生活で頑張ります。どうか皆さま方も陽だまりを大いにご利用いただき、毎日が楽しい日々でありますよう、また陽だまりの益々の活動発展されます事をご祈念申し上げます。

事務局より：今まで本当にありがとうございました。

これからも他の活動で頼りにします！



事務局だより

訪問介護

7月の介護技術研修（社内研修）

今回の研修は、ヘルパーたちが社外研修で習ったことを他のヘルパーに伝えてもらう伝達研修方式で行いました。利用者の方を尊重し、本人の残存機能をフルに使っていただくように配慮した対応や、目線の位置、言動などを細かくチェックして



いきました。利用者さん役になった方は自分の思ったように発言するので、ヘルパー役は臨機応変に対応し、利用者さんの思いを組み取りつつ、目的行動を成し遂げていました。この研修の成果を皆さまのところで発揮できるよう、がんばります。



特定事業所加算について

要介護1～5の方や、自立支援サービスを利用されている方（上限管理のない方）には、すでにお知らせしておりますが、10月より陽だまり訪問介護事業所は特定事業所加算（Ⅱ）の対象事業者となりました。つきましては、利用料が所定単位数の10%加算となります。利用者のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

居宅介護支援（ケアマネジャー）

4月に再開して早や半年が経ちました。ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、利用者さんの中には陽だまりに戻ってきて下さる方もいて、感謝の気持ちでいっぱいです。また、新しい方との出会いもありました。人生に関わらせていただく重さをしっかり噛みしめながら、これからも精一杯がんばっていきます。

福祉有償運送（移動サービス）

去る9月17日（木）、運営協議会が開催され、塩谷副代表、山本（陽）、市川が出席し、平成20年度の事業報告を行いました。委員さんからは赤字を心配してくださる意見もあり、財政面でも安定した運営が必要との認識を新たにしました。また、今年度は、市役所で異動があり、事務局の担当者が変わりました。前任の和田課長さんには大変お世話になったのでお名残り惜しいのですが、新しく担当して下さる職員さんとも力を合わせてがんばっていきたいと思います。

今年度の活動がマスコミに取り上げられました。

- 6月サンプレス介護特集に、ヘルパー管理者・佐々木のコメントが掲載
- 広報東広島7月号「障害者ホームヘルパーの仕事」において、ヘルパー管理者・佐々木が事業者間のネットワークを立ち上げた経緯、ヘルパースキルアップ研修などに取り組んでいることを報告
- 中国新聞（8/21付）において、「宿題かけこみ寺」が掲載
- 夕方のNHKニュース（7/27、8/3）で「うどん作り」「スイーツアクセサリー」が放映

アルバム

アルバムの

かすかな溜息を聞こう

楽しかった思い出の

追憶かしら：

アルバムの

すすり哭く声を聞こう

めぐり来ぬあの日

あの時の哀愁かしら：

アルバムの

美しき唄声を聴こう

親しい人を待つ

慕情のおののきかしら

碁人

志麻義人様

